

# 一般質問

を維持できなくなってきたり、状況を把握しているのか。

**答** 税制や医療制度など高齢者にとって大変厳しい状況になっていることは、市としても認識しています。

## 住民税の低所得者減免 二十年度から実施

**問** 足立 以前から提案していた住民税の低所得者減免の、実施のための作業スケジュールはどうなっているか。

**答** これからの調査をもとに、来年一月には減免基準を決め、平成二十年度に実施し

## 障がい者助成の タクシー券を元に

**問** 山口 障がい者に助成していた年間三十六枚のタクシー券を十二枚も削減したことは、障がい者の負担をなお一層増やすことになる。直ちに元に戻すべき。

**答** 厳しい財政下であることから余儀なくされたもので、理解をお願いします。なお、人工透析患者の通院時の助成は検討いたします。

## かおりあるまちづくり

市民生活

## 文化芸術振興策の 担当課は

**問** 堀口 文化芸術振興策について、対応を一元化するために担当課を明確にすべきだ。また、基本条例の制定は、事業の役割を明確にすることにより、効率的かつ適正

な文化芸術の事業を実施していきます。文化は人の生き様そのものであり、条例については広くとらえていく必要があります。

## 学園分館建て替えの 住民説明会実施を

**問** 前原 平成十九年度設

計、二十年度建設の学園分館建て替えについて、具体的な計画を示す住民説明会を早急

**答** 財政状況により、建て替え計画は先送りせざるを得ません。計画が具体的になった時点で説明会を行います。

**問** ならばなおのこと、計画変更についての住民に対する説明責任がある。また、段差の解消、雨戸の修理など緊急な修理も必要ではないか。

**答** 老朽化に伴う修繕計画は進めます。

## 野良猫の避妊・去勢に 市の助成を

**問** 伊藤 野良猫の増加に伴い、ボランティアで野良猫の避妊・去勢手術（一匹一万五、〇〇〇円程度負担）をしてくださっている方に、市で助成金の支給を。

**答** 市にも野良猫の苦情が多く寄せられています。助成金は財政上厳しいですが、他市の調査を行ないたい。

## 防鳥ネット周知と生ゴミの出し方の工夫を

**問** 伊藤 ゴミステーション



防鳥ネット

**答** 今後、国の具体的指針が打ち出された段階で、十分に活用が図られるように考えています。また、生涯学習課との連携により、学校支援ボランティア制度に積極的に登録していたくなど、幅広く活用が図られるよう考えています。

## ふじみ野駅周辺の 駐輪場増設を

**問** 新井 ふじみ野駅周辺にある無料の駐輪場がいつぱいになっている。土地所有者の了解を得て、二階建てにできないか。さらには、富士見市とも協議し、周辺の調整池などを活用して増設すべきだ。

**答** 土地所有者との協議や周辺の所有者に打診しましたが、適当な場所が見当たりません。今後も引き続き努力します。

## 団塊世代の人材活用は

**問** 高橋 来年度から国は「団塊の世代」の人材を教育分野で活用する「教育サポーター」を創設していく方針を決めたが、教育委員会の見解は。

## 西ノ原中央公園に 駐輪・駐車場の確保を

**問** 新井 以前あった駐車場がなくなり、高齢者や障がい者が公園を利用するのに不便になった。周辺に駐輪・駐車場の確保ができないか。

**答** 出入り口や駐輪場の整備は必要と考えるので、計画的に改修していきたい。なお、近隣公園の位置づけなので、駐車場は想定していません。

## 管理不十分な空き家の 安全対策

**問** 塚越 防犯・防災の観点から、空き屋対策としてできることは何か。

**答** 衛生的な問題は環境課、倒壊の恐れなどある場合は建築課です。現地調査を行ない、所有者に改善をお願いしています。

## 市の農業育成の方策は

**問** 岸川 農業経営基盤強化促進基本構想が策定された。現在、市ではこの基本構想をどのように推進・展開するのか。今後、この都市近郊農業をどう活性化できるのか、安全・安心な農産物の供給、地産地消による消費拡大など、ふじみ野市の農業を育成していく方策は。

**答** 後継者・農業所得・集中豪雨時の水がめ等の農地の保全・地の利を生かした新鮮な農産物提供・ふじみ野市ブ

ンド等を検討していきたい。

## 特色を出した 児童遊園の再整備を

**問** 岸川 近年、公園・児童遊園に対する市民要望は、世代によって多様化している。各世代の利用を考えた魅力ある施設として、再整備を図る

## 教育の向上を目指して

教育

## 就学支援シートを 導入すべき

**問** 堀口 就学に当たって、障がいへの配慮を効果的に引き継ぐために「就学支援シート」を導入すべきである。

**答** 平成十九年度から統一された「個別の教育支援計画」指導計画」を対象児童ごとに備えて対応することになっています。学校内において就学支援ノートと同様な活用を図れるものと考え、一人ひとりの状況に応じた適正な支援を行なっていきます。

## 東台小学校に 通級指導教室の設置を

**問** 伊藤 特別支援が必要な小中学生が七十名いる。軽度発達障がい児の個々のニーズに応じた適切な指導が重要。生徒指導支援員に、専門知識の研修を。通常学級のほかに、特別な指導が受けられる通級指導教室を、東台小学校に設置してはどうか。

**答** 支援員は、教員の経験者など人柄を重視。小児科医を含め講演会を開催。保護者、地域へも広めていきます。通級

## 放課後児童対策を 選択制に

**問** 田村 合併して一年八カ月、放課後児童対策に違いがある。両者の歴史も違うが、入所できない児童がいる。せめて選択制の導入はできないか。

**答** 対象が小学校低学年で負担と安全面を考えた時、導入は無理です。

**問** 東台小学校の放課後対策はどうするのか。重要なポイントである。

**答** 大井地域（学童保育方式）でもあり、そのことを尊重し

## 子ども読書活動と図書 購入費の財源確保は

**問** 高橋 学校図書館の充実・整備、子ども読書活動の推進、平成十九年度の図書購入費の財源確保は。

**答** 地域ボランティアの読み聞かせ会の実施、図書館整備員による使いやすい本の並べ方の工夫、小中学校の朝読書の実施、推薦図書紹介等を行っています。平成十九年度の予算措置は、小学校五四一万円、中学校二八〇万円で、学校の規模に応じた充足率と児童生徒数を十分考慮した予算配分を行ないました。



中央児童館の七夕飾り